

提供日 2023/3/8 (水)

タイトル インドネシアから受入れた患者の手術成功

担当 県立こども病院

連絡先 県立こども病院 会計課 企画・管財係 野中

TEL 054-247-6251(代)



～ともにつくる 信頼と安心の医療～

インドネシアから受け入れた心臓疾患患者の手術成功 —記者会見のお知らせ—

(要旨)

静岡県立こども病院は、非常に複雑な先天性心臓疾患を持つインドネシアの小児患者を受け入れ、手術に成功しました。心臓手術のための海外患者の当院への受入れは、マレーシア（2015年）、インドネシア（2019年）について3人目となります。

(概要)

1 患者等

- ・患者 9歳 女児（インドネシア在住）
- ・疾患 完全型房室中隔欠損症、肺動脈絞扼術後（2013年）

2 受入れの経緯

- ・患者はインドネシアで出生し、上記先天性心疾患と診断されました。救命のため肺動脈絞扼術をシンガポールで行ったものの、根治術は困難であると考えられていました。その後、チアノーゼ（低酸素血症）と発育不良の状態ですら9年間過ごしていました。
- ・2019年に患者の保護者から、当院の坂本院長あてに手術依頼がありましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大のため、外国からの患者の受入れを控えていました。
- ・新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の終了にあたり、海外からの入国が可能となったことから、今回の受け入れとなりました。

3 治療の経過

月 日	内 容
1月19日	入院
1月25日	心臓カテーテル検査
1月31日	完全型房室中隔欠損症手術
2月6日	ペースメーカーの植込み手術
2月28日	退院
3月8日、9日	外来診察予定。結果が良好であれば3月14日帰国予定

- ・入院して評価を行ったところ、正常な心臓において僧帽弁に相当する弁の形態が悪く、人工機械弁への置換の懸念もありましたが、手術により自己組織での形成に成功しました。
- ・また、術後に難治性の徐脈頻脈症候群という不整脈を発症し左側相同心という稀な疾患を合併していることも判明しました。そのため、ペースメーカーの植え込みも必要となりましたが、順調に回復し退院帰国の運びとなりました。

今回の治療の内容・経過について、以下のとおり会見を開きます。

- ・日時 令和5年3月9日（木）13：00～14：00
 - ・会場 静岡県立こども病院 大会議室（L棟3階）
（住所：静岡市葵区漆山860 電話：054-247-6251（代表））
- ※ 患者及び両親は10分程度同席予定です。